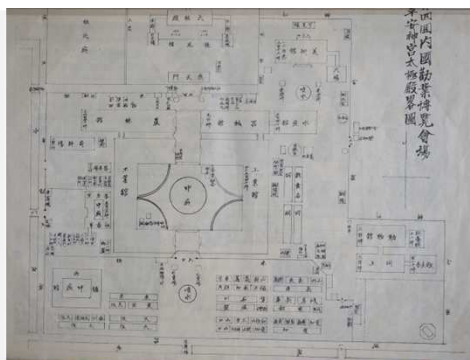


# 設立、宮家とのご縁

明治33年5月10日、皇太子殿下御結婚の慶典を行うにあたり、京都市民は協力一致、この盛典を祝する誠意を表するため、一の記念物を建設する目的で、東宮御慶事奉祝会を組織し、約5900人、1万4千円の有志金を拠出して、これを京都市に寄付。市の当局者は有志者と協議し、教育学術の中核、美術工芸の首府たる京都の地には動物園が必要とし、市費1万6千円を支出、第4回内国勸業博覧会の跡地を敷地にあて、明治34年度、35年度にわたる土木工事を終え、明治36年4月1日より「京都市記念動物園」として開園。



- 1903/4/9 久邇宮殿下御来園御巡覧
- 1903/5/30 白雁の卵を皇太子殿下に献上
- 1903/10/21 皇太子殿下(大正天皇)人力車に召され御臨園巡覧  
櫻型池の東小丘上に松樹(二条離宮の赤松・黒松)の御手植
- 1904/10/5 皇太子殿下御下賜の馴鹿(トナカイ)一頭、猟犬三頭到着
- 1905/4/3 皇太子殿下御下賜月輪熊の子一頭着園
- 1906/4/25 東宮御下賜の清国産山猫一頭着園
- 1906/8/31 皇太子殿下御誕辰奉祝記念(絵葉書)
- 1907/6/7 園内の風景及び動物の写真を絵葉書に仕立て、五十枚を一組とし三組、皇太子殿下に献上
- 1907/7/5 朝香宮・東久邇宮殿下御来臨御巡覧
- 1910/5/22 御手植松、ライオンの子の写真五枚を一組とし東上、皇太子殿下、同妃殿下、三皇孫殿下に献上
- 1910/9/28 皇太子殿下(大正天皇)行啓  
皇太子殿下、淳宮光宮両殿下御同伴行啓
- 1913/3/31 正門正面の大水禽池より順次観覧。鶴放養場前の小丘に五葉松の御手植え。  
園内の風景及び人工哺育ライオンの現状等の七枚を一組とし、三殿下に献上
- 1913/10/19 聖上皇后両陛下には桃山御陵参拝のため行幸啓
- 1914/3/19 皇太子殿下、淳宮殿下、高松宮殿下御同伴行啓
- 1914/12/28 昨年、下賜された伏見桃山東陵にありし建物を貴賓休憩所に新築し本日落成
- 1915/4/18 皇太子殿下行啓
- 1915/10/10 大典記念京都博覧会~12/19
- 1918/4/7 皇太子殿下行啓
- 1919/4/8 柳原二位局御観覧
- 1919/5/7 皇太子殿下御成年式御挙行に付奉祝のため無料入園(初開催、49,572名来園)
- 1919/5/17 皇后陛下行啓
- 1919/5/18 京都御所に伺候し、写真七枚(今上天皇御手植松、皇太子殿下同上、子を伴う丹頂鶴、同獅子、同綿羊、群兎、本園花季全景)及青鷺の羽根三組を献上
- 1919/6/20 皇后陛下行啓御記念としてミカド雉一番御下賜
- 1920/6/30 本国生産ライオン(五十鈴號と常夏號)及同黒七面鳥一番を献納  
御下賜白七面鳥拝受
- 1925/5/11 今上陛下銀婚式奉祝並に本園創立記念式を挙行  
来賓に記念絵葉書を贈呈
- 1931/4/20 大正3年御下賜の伏見桃山東御陵の建物を来賓休憩所に改築竣成
- 1935/9/19 賀陽若宮殿下御来園、黒猩々トミーの自転車乗り御観覧
- 1935/9/30 賀陽大妃殿下、御孫若宮殿下御同伴御来園  
黒猩々及生後五十七日目の子ライオンを御抱き遊ばさる
- 1939/1/7 朝香宮愛彦王殿下同妃千賀子殿下御来園御観覧
- 2009/11/10 秋篠宮文仁親王殿下御視察(第16回種保存会議)
- 2017/12/13 秋篠宮文仁親王殿下御視察(第65回動物園技術者研究会)
- 2018/3/28 ナスヒオウギアヤメ拝受
- 2018/8/5 宮家ゆかりの雨庭整備
- 2021/5/28 秋篠宮文仁皇嗣殿下(日本動物園水族館協会総会)※コロナ禍のため御視察なし

本園は設立の経緯から宮家とのご縁をいただいております、旧宮家の皆様の御来園も含めると106回を数えます。現在は、加盟する(公社)日本動物園水族館協会の総裁である秋篠宮様とのご縁を大切にしております。